

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士科(夜間部)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	臨床医学総論 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	酒井 寛	実務経験とその関連資格	医学博士。国立循環器病センター病院、国立病院機構(大阪、京都、舞鶴など)に勤務。この間、病院付属の看護助産学校、リハビリテーション学院の講師、大阪大学医学部保健学科臨床教授、国際協力事業団専門家 など。			
《授業科目における学習内容》						
臨床工学技士が現場で遭遇する疾患について病態、症状、所見、治療など基本的な内容について理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
中間試験と期末試験にて記述試験をおこなう。その平均点評価:70% 出席評価:20%。レポート提出状況など平常評価:10%。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:臨床工学講座 臨床医学総論 参考書:目でみるからだのメカニズム、臨床工学技士標準テキスト、検査データ活用マニュアル、コメディカルのための内科学						
《授業外における学習方法》						
次回の授業内容を把握するため、事前に教科書の内容を確認すること。 配布する演習問題を次回講義までに解いておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
臨床医学総論は範囲が広く、国家試験の出題数も多いため、ポイントを抑えることが大切である。解剖学,生理学,病理学,医用治療機器学との絡みも多く,疾患と関連させて理解すると記憶に残る学習が可能である。各疾患ごとに演習を実施し、理解力を確認する。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	内科学総論について現代医療の特徴や問題点、診療へのアプローチ方法を理解する。		臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	医療職の動向、患者家族との関係、現代医療の特徴と最新の問題点、病歴とカルテ			
第2回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	疾患でみられる種々の症状と病態生理、治療中の管理事項の理解、バイタルサインと緊急を要する病態を理解する。		臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	発熱、黄疸、チアノーゼ、脱水、浮腫、下痢、便秘、腹部膨満、出血傾向、胸痛、動悸、ショック、呼吸困難、口渇、めまい、酸・塩基平衡、電解質、体温調節、救急措置、心停止、昏睡			
第3回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	基本的な手術操作と手術機器、滅菌・消毒の解説、感染予防について理解する。		臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	切開、止血、縫合、滅菌法と消毒法、熱による滅菌、濾過滅菌、ガス滅菌、放射線・紫外線滅菌、消毒薬、消毒薬の検定、滅菌・消毒の実際、標準予防法			
第4回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	外科的侵襲と生体反応、侵襲による代謝変動と代謝過程を理解する。		臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	侵襲に対する生体反応、神経・内分泌系反応、凝固・線溶系反応、代謝変動と回復過程			
第5回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	侵襲の強度と全身反応、多臓器不全、創傷治療について理解する。		臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	全身性炎症反応症候群、敗血症、DIC、ARDS、ショック、多臓器不全、創傷治療の過程、創傷治療が遅延する因子、ドレナージ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	臨床外科栄養について理解する。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	外科的侵襲時の代謝変動と栄養管理の意義、栄養サポートチーム、経静脈栄養法、経腸栄養、栄養管理		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	臓器移植の総論、移植免疫と拒絶反応、移植後感染症について理解する。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	移植の分類、MHCとHLA、移植免疫と拒絶反応、移植片対宿主反応、免疫抑制法、移植後感染症		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	臓器移植の各論について、臓器移植の法律と脳死について理解する。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	心臓移植、肺移植、肝臓移植、膵臓移植、腎臓移植、死の判定、脳死判定基準		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	感染症の概説、ウイルス感染症の症状、検査所見、診断、治療について理解する。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	インフルエンザ、麻疹、風疹、日本脳炎、後天性免疫不全症候群、流行性耳下腺炎、水痘、尖圭コンジローマ		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	クラミジア感染症、リケッチア感染症の症状、検査所見、診断、治療について理解する。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	クラミジア肺炎、オウム病、クラミジア性感染症、発疹チフス、ツツガムシ病など		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	細菌感染症の症状、検査所見、診断、治療について理解する。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	結核、レジオネラ症、マイコプラズマ肺炎、黄色ブドウ球菌、A群連鎖球菌、細菌性赤痢、ペスト、コレラ、腸炎ビブリオ、ボツリヌス、破傷風、ハンセン病、梅毒、腸チフス		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	原虫感染症、寄生虫感染症の症状、検査所見、診断、治療について理解する。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	アメーバ赤痢、マラリア、トリコモナス症、アニサキス症、フィラリア症、エキノコックス症		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	免疫に関与する細胞の種類と作用、免疫のしくみを理解する。アレルギー疾患の分類と機序、種々のアレルギー疾患を理解する。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	免疫のしくみ、免疫担当細胞、自然免疫と獲得免疫、アレルギー性鼻炎、リウマチ熱、血清病、ツベルクリン反応		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	免疫不全、自己免疫疾患、膠原病などの特徴を理解する。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	原発性/続発性免疫不全、SLE、関節リウマチ、多発性/皮膚筋炎、全身性硬化症、慢性甲状腺炎、結節性動脈周囲炎、大動脈炎症候群、Sjögren症候群、混合性結合織病、ベーチェット病		
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	本講義内容について、要点を理解した上で説明ができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	総合演習を行ない、講義内容の理解度を測る。		